

## 2005年

### 【論文等】

川嶋 將生

松本郁代「鎌倉時代の神泉苑請雨経法指図 財団法人藤井永観文庫蔵『神泉苑請雨経法道場図』の紹介」(『アート・リサーチ』vol. 5, 2005年3月)

川嶋將生「伝明恵上人筆「護身法事」紙背文書の楽書」(『アート・リサーチ』5号, 135p~142p, 2005年)

赤間 亮

On-line Databases of Kabuki Materials: Models of Current Resource Sites Ritsumeikan's Art Research Center(2005.6)

赤間 亮 第1回デジタルコンテンツシンポジウム予稿集「WEB上の教育コンテンツ活用支援としての歌舞伎資料デジタルアーカイブ」, 2005年6月

杉橋 隆夫

杉橋隆夫「荘園制の確立と武士社会の到来」(『沼津市史通史編 原始・古代・中世』第二編第五章, pp. 195~217, 2005年)

井上幸治「上京区」の一部と「山科区」の項目(源城政好・下坂守編『京都の地名由来辞典』東京堂出版, 2005年)

長村祥知「書評 三島義教著『三善康信』」(『古代文化』57-11, pp. 49~52, 2005年)

佐古愛己, 上島理恵子, 井上幸治, 宮田敬三, 杉橋隆夫「『兵範記』データベースと12世紀京都の歴史地図」(立命館大学21世紀COEプログラム「京都アート・エンタテインメント創成研究『2004年度研究報告書』」, pp. 51~58, 2005年)

山本崇・高橋克壽・林正憲(共著)「興福寺旧境内の調査 平城第371次」(奈良文化財研究所『奈良文化財研究所紀要2005』, pp. 96-97, 2005年)

西村健司(財)枚方市文化財研究調査会・山本崇(共著)「大阪・禁野本町遺跡」(『木簡研究』27号, pp. 52-55, 2005年)

山本崇「奈良・平城宮跡」(『木簡研究』27号, 2005年, pp. 8-10)

桂島 宣弘

桂島 宣弘「近世儒学と中国・朝鮮」『2004年秋季学術研究会報告集』立命館大学, 2005年

大平祐一・桂島宣弘「儒学の日本化論をめぐって」『「日本型」社会論の射程』文理閣, pp. 107~119, 2005年

「儒学の日本化をめぐって」『伝統與近代』韓国哲学思想研究会, pp. 231~242, 2005年

桂島宣弘「国学への眼差しと伝統の『創造』」(『歴史評論』659号, pp. 72-89, 2005年2月)

桂島宣弘「近世日朝における自他認識の転回」(桂島編『「日本型」社会論の射程』文理閣, pp. 89-105, 2005年3月)

「( ) (轉回)」

『日本近代學研究』第10輯 韓国日本近代學會, 2005年, pp. 5~16

「19 . (後期水學) (許愈)

- 』『南冥学研究』第19輯 慶尚大学校慶南文化研究院

南冥学研究所, 2005年, pp. 87~120

大平祐一・桂島宣弘「近世(朝鮮王朝後期・徳川日本)における日朝自他認識の転回」『「日本型」社会論の射程』文理閣, pp. 89~105, 2005年

木立 雅朗

木立雅朗「京都の陶器窯」(『窯構造・窯道具からみた窯業 - 関西窯場の技術的系譜をさぐる - 』関西近世陶磁史学会, pp. 137-153(学会報告), 2005年1月)

木立雅朗『立命館大学文学部学芸員課程研究報告第11集 鳴滝乾山窯跡 第1~5次発掘調査概報』立命館

大学文学部日本史学専攻考古学コース編集（法蔵寺鳴滝乾山窯址発掘調査団・立命館大学文学部・立命館大学21世紀COE京都アート・エンターテインメント創成研究，p.16，2005年3月）

木立 雅朗『法蔵寺鳴滝乾山窯址第5次発掘調査速報』立命館大学文学部日本史学専攻考古学コース歴史考古学ゼミ編集執筆（法蔵寺鳴滝乾山窯址発掘調査団・立命館大学21世紀COE京都アート・エンターテインメント創成研究，p.54，2005年3月）

木立 雅朗「『本土決戦』に備えた陶器製手榴弾の弾体」木立雅朗（『学芸員ニュース・レター』第17号，pp.1-2，2005年3月）

#### 本郷 真紹

本郷真紹「宮廷女性の仏教信仰 - 御願寺建立の史的意義 - 」シンポジウム資料集『皇太后の山寺』（京都大学大学院文学研究科21世紀COEプログラム『グローバル化時代の多元的人文学の拠点形成』発行），2005年11月，pp.57~68

本郷真紹「『8世紀新羅仏教の動向と東アジア仏教界』討論文」、『歴史における宗教と信仰 討論文』（国際歴史学韓国委員会発行），2005年11月，pp.9~13

本郷真紹・毛利憲一「平安京と地方の宗教文化 - 山林寺院を題材とした研究から - 」、『立命館大学21世紀COEプログラム「京都アート・エンターテインメント創成研究」2004年度研究報告書 サブプロジェクト概要』（立命館大学発行），2005年4月，pp.85~90

毛利憲一「（2005年度日本史研究会大会に向けて）六・七世紀の地方支配 - 「国」の歴史的位置 - 」、『日本史研究』517号，2005年9月，pp9~11

本郷真紹『律令国家仏教の研究』（法蔵館，京都，2005年）

本郷真紹，『近江日野の歴史1 自然・古代編』古代編第3章第1・3節（滋賀県日野町，2005年）

毛利憲一「山林寺院」「石山寺」「良弁」ほか8項目，（『日本古代史大辞典』，大和書房，2005年）

三宅八幡宮絵馬保存会編『洛北上高野八幡さんの絵馬 - 三宅八幡神社奉納育児・成人儀礼関連絵馬調査報告書 - 』（毛利が編集に参加。三宅八幡宮絵馬保存会，2005年）

#### 稲葉 光行

稲葉光行『地域アーカイブ構築を通じた協調学習コミュニティの形成』「先進IT活用教育シンポジウムin京都」予稿集，財団法人コンピュータ教育開発センター，pp.33-34. 2005年10月

稲葉光行，大野晋，細井浩一，"スライド型Web教材へのアノテーションに基づく協調学習支援システムに関する研究"，立命館高等教育研究，立命館大学・大学教育開発支援センター，pp.17-31，2005年6月。

「ホノルルの日本映画上映と日本人町の発展」榎藤千恵（『立命館言語文化研究』No.16，No.4，2005年）

齋藤進也・稲葉光行「地域コミュニティにおけるナラティブの蓄積と共有のためのナレッジフルアーカイブ」、『アート・リサーチ』No.5，2005年）

齋藤進也・稲葉光行「協調的なナラティブの蓄積による地域アーカイブ構築に関する研究」

#### 八村 広三郎

八村広三郎，岡村豊明：携帯電話のカメラによる看板画像をキーとして利用するコンテンツ提供システム，画像電子学会誌，Vol. 34，No. 5，pp. 596-605，2005.

Kozaburo Hachimura: Digital Archiving of Dancing, Extended Abstract of the First South-Eastern European Digitization Initiative Conference, pp.42-45, 2005. (Invited Talk)  
Minako Nakamura, Kozaburo Hachimura: An XML representation of Labanotation - LabanXML and its

implementation on the notation editor LabanEditor2, Extended Abstract of the First South-Eastern European Digitization Initiative Conference, pp.86-90, 2005.

Kozaburo Hachimura, Katsumi Takashina and Mitsu Yoshimura: Analysis and Evaluation of Dancing Movement Based on LMA, Proc. 2005 IEEE International Workshop on Robots and Human Interactive Communication, pp.294-299, 2005.

吉村ミツ，崔雄，八村広三郎，国枝たか子，安広美智子：日本古典舞踊上方舞の「らせん動作」とイタリア宮廷舞踊バッサダンツァの「ゴンドラ波動作」，情報処理学会人文科学とコンピュータシンポジウム論文集，pp. 1-8，2005年。

阪田真己子,丸茂裕佳,八村広三郎,崔雄,吉村ミツ:日本舞踊における目遣いの定量的分析  
アイマークレコーダとモーションキャプチャによる視線と身体動作の同時計測,情報処理学会  
人文科学とコンピュータシンポジウム論文集, pp. 9-14, 2005年.

小島一成,八村広三郎,赤間亮:伝統芸能における歩行動作の分析について,情報処理学会人文  
科学とコンピュータシンポジウム論文集, pp. 15-20, 2005年.

吉村ミツ,八村広三郎,丸茂祐佳:舞踊動作を表す構造変数と時空間変数の比較,信学技報  
PRMU2005-114, pp.1-6, 2005年.

清水圭太,崔雄,八村広三郎:モーションキャプチャとネットワークを用いた遠隔地間ダンスイ  
ンタラクシオンに関する研究,情報処理学会人文科学とコンピュータシンポジウム論文集, pp.  
173-178, 2005年.

八村広三郎:特別講演「無形文化財のデジタルアーカイブ化とその応用」,日本人間工学会関西  
支部大会論文集, pp.1-8, 2005年.

古川耕平,崔雄,八村広三郎,荒木かおり:国宝能舞台のデジタル復元とその応用,  
エンタテインメントコンピューティング 2005 論文集(情報処理学会シンポジウムシリーズ  
vol.2005, No.10), pp.131-134, 2005年.

木田侑吾,崔雄,八村広三郎:複合現実感技術を利用したストリートダンス訓練支援システムの  
検討と評価,日本バーチャルリアリティ学会第10回大会論文集, pp. 99-100, 2005年.

清水圭太,崔雄,小島一成,八村広三郎:モーションキャプチャを用いた没入型仮想環境におけ  
る遠隔地インタラクシオン,日本バーチャルリアリティ学会第10回大会論文集, pp. 259-260,  
2005年.

阪田真己子,八村広三郎,吉村ミツ:モーションキャプチャを用いた歩行動作の感性情報処理の  
試み,ヒューマンインタフェースシンポジウム 2005 論文集, pp.17-22, 2005年.

坪井昭憲,八村広三郎,吉村ミツ:江戸期版本画像からの文字切出しの試み,情報処理学会研究  
報告, 2005-CH-66, pp.53-60, 2005年.

崔雄,橋本直己,八村広三郎,佐藤誠:力覚と視覚提示機能を備えたリアクティブモーションキ  
ャプチャシステムによるキャラクタ動作の生成,ヒューマンインタフェース学会研究報告集,  
Vol.7, No.3, pp.27-34, 2005年.

小島一成,赤間亮,八村広三郎,金子貴昭,重田みち,稲葉光行,瀬尾訓生,長村玄:  
デジタルアーカイブの支援技術-能楽コンテンツとその活用-,デジタルコンテンツシンポジウ  
ム講演予稿集, CD-ROM 出版, 2005年.

矢野桂司,磯田 弦,河角龍典,河原 大,井上 学,中谷友樹,高瀬 裕,塚本章宏,桐村 喬,  
田中 覚,田中弘美,赤間 亮,八村広三郎,川嶋將生:バーチャル時・空間上の京都アート・  
エンタテインメント, デジタルコンテンツシンポジウム講演予稿集, CD-ROM 出版, 2005年.

八村広三郎「日本舞踊の基礎動作「オクリ」に現れる女らしさの特徴解析」丸茂祐佳,吉村ミツ,  
小島一成,(『舞踊学』第27号, 2005年)

高階克己・八村広三郎・吉村ミツ「LMAに基づく舞踊動作の解析・評価」(『情報処理学会研究報  
告』2005-CH-65, pp.9-16, 2005年)

吉村ミツ・八村広三郎・丸茂祐佳「舞踊動作を表す特徴についての検討」(『情報処理学会研究報  
告』 2005-CH-65, pp.17-24, 2005年)

#### 徐 剛

池田耕二,岡本啓照,徐剛,外川勝,日本建築学会大会学術講演,「3次元画像計測ソフトを用いた建築限  
界測定 測定手法の構築と精度検証」,2005年4月

徐剛,牛曉明,第13回産業用バーチャルリアリティ展(東京)で,2カメラと1プロジェクタによる高精度  
全自動面計測プロトタイプシステムを展示,2005年6月

山崎雅起,徐 剛,陳延偉,CVIM研究会「独立成分分析を用いた移動物体の検出」,2005年9月

池田耕二,岡本啓照,徐剛,外川勝,小出博,2005土木学会(早稲田大学),「3次元画像計測ソフトを用い  
た建築限界測定」,2005年9月

徐剛,阮翔,小出博,2005土木学会(早稲田大学),「全自動高精度三次元画像計測ソフトウェア開発」,2005  
年9月

徐剛, 牛曉明, ViEW2005: ビジョン技術の実使用ワークショップ (横浜), 「位相シフト法とグレイコード法による高精度 3次元計測」, 2005年12月

宮原健吾, 高町武志, 徐剛<sup>2</sup>, 情報処理学会人文科学とコンピュータシンポジウム (じんもんこん) 2005 東京学会, 「実測図とデジタル画像を利用した陶磁器のテクスチャマッピング」, 005年12月

牛曉明「二枚の写真から回転体の三次元形状を復元する方法」(『情報処理学会研究報告コンピュータビジョンとイメージメディア』2005 - CIVM-147, pp.1-7, 2005年1月)

#### 山下 洋一

竹村清志, 山下洋一: “ケプストラム分析に基づいた音楽性雑音の除去”, 日本音響学会2005年春季研究発表会講演論文集, 3-5-7, pp.89-90 (2005年).

趙國, 宮山章子, 山下洋一: “N-best音声認識における認識スコアを利用した候補提示数の決定”, 電子情報通信学会論文誌(D-II), J88-D-II, 6, pp.1003-1011 (2005年).

前田一成, 山下洋一: “主成分分析に基づいた音高認識のための特徴抽出”, 日本音響学会2005年秋季研究発表会講演論文集, 3-10-13, pp.763-764 (2005年).

中川隆広, 岡田一貴, 山下洋一, 重田みち, 赤間亮: “能楽ビデオデータに対するタグ付け支援環境の開発”, 人文科学とコンピュータシンポジウム (じんもんこん2005) 論文集, pp.143-149 (2005年)...

竹村清志・山下洋一「ケプストラム分析に基づいた音楽性雑音の除去」(『日本音響学会2005年春季研究発表会講演論文集』3-5-7, pp.89-90, 2005年3月)

#### 田中 覚

城良友, 田中覚, 木村彰徳, 岡将史, 長谷川恭子, 仲田晋, 柴田章博, “ブラウン運動を利用した陰関数曲面の衝突曲線・等高線の検出・可視化”, 電子情報通信学会論文誌, Vol. J88-D-II, No.12, pp.2388-2393, 2005年.

藤本大地, 伊東拓, 仲田晋, 北川高嗣, 岡将史, 田中覚, “MPU 法に基づく色情報付き陰関数曲面の生成”, 電子情報通信学会論文誌, in press .

城良友, 田中覚, 仲田晋, 木村彰徳, 長谷川恭子, 岡将史, 柴田章博, “ブラウン運動による複雑曲面の衝突ループ検出”, 第67回情報処理学会全国大会, pp.4-211-4-212, 東京, March 2-4, 2005年.

草深祥平, 田中覚, “ブラウン運動による陰関数ボリュームのサンプリング”, 電子情報通信学会2005年総合大会講演予稿集, D-11-92, 大阪, March 21-24, 2005年.

岡将史, 田中覚, 仲田晋, 木村彰徳, 長谷川恭子, 城良友, “確率過程サンプリング法を用いた陰関数曲面のポイント・レンダリング”, 電子情報通信学会2005年総合大会講演論文集, D-11-147, 大阪, March 21-24, 2005年.

Akinori Kimura, Yasufumi Takama, Yu Yamazoe, Satoshi Tanaka, and Hiromi Tanaka, "Parallel Volume Segmentation of Multiple Regions with Adaptive Tetrahedral Grid," Poster Proceedings of International Workshop on Volume Graphics, June 20-21, 2005, Stony Brook, New York, USA, pp.11-14.

K. Hasegawa, S. Nakata, S. Tanaka, “Meshless Structural Analyses of Complex Shape Models Using Implicit Surface Representations,” ICNSP&APPTC 2005, pp.192-193, Nara, Japan, 2005.

#### 田中 弘美

松本卓, 金子昇治, 田中弘美: “奥行きおよび空間知覚特性に基づく階層的3次元物体モデルの生成と表示”, 電子情報通信学会論文誌, D-II Vol. J88-D-II No.8 pp.1573-1582, August, 2005年.

Wei Wei Xu, Ryo Akama and Hiromi T. Tanaka, “Reconstruct 3D Face Model from Ancient Kabuki Player,” 情報処理学会「画像の認識・理解シンポジウム(MIRU'05)」論文集pp.771-776, July, 2005年.

武田祐樹, フィンクァン フィ ヴィエト, 坂口嘉之, 田中弘美, “フレネル項を考慮した多視点画像の反射光解析に基づく織布の異方性反射モデリング”, 情報処理学会「画像の認識・理解シンポジウム(MIRU'05)」論文集pp.1582-1589, July, 2005年.

松田悠, 武田祐樹, 田中弘美, “画像解析に基づく二重透過を利用した織布の透過および反射特性の抽出”, 人文科学とコンピュータシンポジウム (じんもんこん2005), IPSJ Symposium Series Vol.2005, No.21, pp-, (Dec. 2005).

尹新, 藤本忠博, 千葉則茂, 田中弘美, " コンピュータグラフィクスによる木簡の経年変化の表現法, " 人文科学とコンピュータシンポジウム (じんもんこん2005), IPSJ Symposium Series Vol.2005, No.21, pp95-100, (Dec. 2005).

武田祐樹, 坂口嘉之, 田中弘美, " 反射光解析に基づく織布の微視的幾何構造の推定, " 人文科学とコンピュータシンポジウム (じんもんこん2005), IPSJ Symposium Series Vol.2005, No.21, pp41-46, (Dec. 2005).

亀井啓子, 武田祐樹, 田中弘美, " 二色性反射モデルに基づく織布の異方性反射特性の解析, "

[ 国際会議論文 ( 査読付き ) ]

Yuki Takeda, Huynh Quang Huy Viet and Hiromi T. Tanaka: " Efficient Image-based Rendering of the Anisotropic BRDF of Woven Fabrics, " The First Joint Workshop on Machine Perception and Robotics (MPR2005), pp92-101, (September, 2005).

Wei Wei Xu, Ryo Akama and Hiromi T. Tanaka: " 3D Face Modeling from Ancient Kabuki Drawings, " Proc. Of the 6th International Symposium on Virtual Reality, Archaeology and Intelligent Cultural Heritage Eurographics Symposium(VAST 2005), pp59-65, (Nov. 8-11, 2005).

Ruck Thawonmas

Kohei Tsuda and Ruck Thawonmas, "KeyGraph for Visualization of Discussions in Comments of a Blog Entry," WSEAS Trans. Computers, Issue 12, vol. 4, pp. 1794-1801, 2005.

津田 耕平, Ruck Thawonmas, 今野 優樹, "語の影響度の計量による掲示板におけるキーワードの発見: テキストマイニングのオンラインゲームへの応用," 日本知能情報ファジィ学会誌, 「エンタテインメント特集号」, vol. 17, no. 2, pp. 184-193, 2005年.

Keisuka Tanaka and Ruck Thawonmas, "Towards Procedural Creation of Character behaviour in an Interactive Drama System," Proc. 7th International Conference on Computer Games (CGAMES 2005), CNBDI, Angouleme, France, pp. 135-139, Nov. 2005.

Kohei Tsuda and Ruck Thawonmas, "Visualization of Discussions in Comments of a Blog Entry using KeyGraph and Comment Scores," Proc. of 4th WSEAS International Conference on E-ACTIVITIES (E-ACTIVITIES '05), Miami, Florida, USA, pp. 21-26, Nov. 2005.

Ruck Thawonmas and Katsuyoshi Hata, "Aggregation of Action Symbol Subsequences for Discovery of Online-Game Player Characteristics Using KeyGraph," Lecture Notes in Computer Science, Fumio Kishino et al. (Eds.), vol. 3711 (Proc. of IFIP 4th International Conference on Entertainment Computing, ICEC 2005, Sep. 2005, Sanda, Japan), pp. 126-135.

Kohei Tsuda and Ruck Thawonmas, "Keyword Discovery by Measuring Influence Rates on Bulletin Board Services," Lecture Notes in Computer Science, Fumio Kishino et al. (Eds.), vol. 3711 (Proc. of IFIP 4th International Conference on Entertainment Computing, ICEC 2005, Sep. 2005, Sanda, Japan), pp. 148-154.

Ruck Thawonmas and Yoshitaka Matsumoto, "Hidden Markov Models with Feature Mapping: An Application to MMOG Player Classification," Proc. 6th International Conference on Computer Games: Artificial Intelligence and Mobile Systems (CGAIMS 2005), Louisville, Kentucky, USA pp. 95-101, Jul. 2005.

津田 耕平, Ruck Thawonmas, " 複数のユーザーにより構築されるblogサイトにおけるコメント中の議論に注目したキーワード発見, " エンタテインメントコンピューティング2005, 論文集, p. 7-12, 2005年9月16日~18日.

竹林 淳, 岩橋 左侑, Ruck Thawonmas, "インタラクティブドラマにおける皮膚電気反応によるサスペンスの検証," ゲーム学会第4回全国大会論文集, pp. 55-58, 2005年12月10日

田中 啓介, Ruck Thawonmas, "インタラクティブドラマシステムにおけるキャラクター動作の手続き的生成," ゲーム学会第4回全国大会論文集, pp. 59-63, 2005年12月10日

今野 優樹, Ruck Thawonmas, 細田 高敬, 津田 耕平, "共通単語による仮想空間における人間関係の発見," ゲーム学会第4回全国大会論文集, pp. 69-72, 2005年12月10日

秦 克世志, Ruck Thawonmas, "KeyGraphを用いたプレイヤーの特徴グラフにおけるノード自動配置," ゲーム学会第4回全国大会論文集, pp. 73-76, 2005年12月10日

山下 恭平, 山本 純平, Ruck Thawonmas, 田中 啓介, "HTNプランナーのインタラクティブドラマシステム

への適合化," ゲーム学会第4回全国大会論文集, pp. 77-80, 2005年12月10日

西村 俊和

北脇啓史・西村俊和「分譲型仮想都市を利用したコミュニティ形成支援システム」(『情報処理学会第67回全国大会(4Z-2)』2005年)

前田 亮

Fuminori Kimura, Akira Maeda, Jun Miyazaki, and Shunsuke Uemura. Query Disambiguation for Cross-Language Information Retrieval Using Web Directories. In Proceedings of the International Workshop on Challenges in Web Information Retrieval and Integration (WIRI2005), pp. 154-159, Tokyo, Japan, Apr. 2005.

小川 均

「エージェントの意思決定のための制約充足推論手法の提案」(『情報処理学会全国大会論文集』1M-3, 2005年)

川越 恭二

中谷 圭吾, 鈴木 優, 川越 恭二: 「文書間類似度とキーワードを用いた Web リンク自動生成手法」, 日本データベース学会 Letters, Vol. 4, No. 2, pp. 89-92, 2005

Yu Suzuki, Kenji Hatano, Masatoshi Yoshikawa, Shunsuke Uemura and Kyoji Kawagoe: ``A Normalization Method of Relevance Scores for Combining Ranked Retrieval Results'', International Conference on Asian Digital Libraries (ICADL2005), pp. 311 - 316, Bangkok, Thailand, December 2005.

Kei Fujimoto, Toshiyuki Shimizu, Kenji Hatano, Yu Suzuki, Toshiyuki Amagasa, Hiroko Kinutani, and Masatoshi Yoshikawa: ``An Implementation of High-Speed and High-Precision XML Information Retrieval System on Relational Databases'' (abstract), INEX 2005 Workshop Proceedings, pp.199, Schloss Dagstuhl, Germany, November 2005.

小林 真也, 鈴木 優, 川越 恭二: 「効率的なキャッシュ更新が可能な DB キャッシュ法」, データベースと Web 情報システムに関するシンポジウム (DBWeb2005), 情報処理学会シンポジウムシリーズ, Vol. 2005, No. 16, pp. 173-180

石塚 淳, 鈴木 優, 川越 恭二: 「移動軌跡データを対象とした効率的な類似検索手法」, 第 4 回情報科学技術フォーラム (FIT) 論文集, CD-ROM, 2005 年 9 月.

「利用者の要求に応じた Web リンク自動生成手法」中谷圭吾・鈴木優・川越恭二(電子情報通信学会第 16 回データ工学ワークショップ (DEWS2005)』4B-o2, 2005 年 2 月)

“ InfoPrint: A View of Retrieval Results for Image Retrieval System ”, Yu Suzuki, Yuki Namikawa, and Kyoji Kawagoe, Workshop on Cyberspace Technologies and Societies (IWCTS2005), CDROM, Feb. 2005.

矢野 桂司

高瀬裕「バーチャルリアリティ技術」建築雑誌 Vol.120 No.1532 2005 年 4 月号, 日本建築学会, pp.4-5.

矢野桂司「4D-GIS を活用した歴史都市京都のバーチャル時・空間の構築と社会的合意形成」測量, 55(5), pp.41-43, 2005 年.

矢野桂司・磯田弦・河角龍典・中谷友樹・高瀬裕・河原大・井上学・河原典史・塚本章宏・桐村喬

「都市景観のデジタル化: 京都バーチャル時・空間 京都の過去の町並みを歩く」地図情報 25(2), 2005 年, pp.16-19

矢野桂司・磯田弦・河角龍典・河原大・井上学・中谷友樹・高瀬裕・塚本章宏・桐村喬・田中覚・田中弘美・赤間亮・八村広三郎・川嶋將生「バーチャル時・空間上の京都アート・エンタテインメント」第 1 回デジタルコンテンツシンポジウム関係連合大会) 予稿集 CD-ROM, S3-6

曾根敦・畑中達也・銀木護・益見貴光・坂尾滋彦・河原大・高瀬裕「Web3D-GIS技術による3次元都市モデルのインターネット配信」地理情報システム学会講演論文集 vol.14, 2005年, pp.539-545.

磯田 弦・矢野桂司・中谷友樹「ドローネ三角網を用いた京町家の接続性の分析」地理情報システム学会講演論文集 vol.14, 2005年, pp.521-524.

塚本章宏「GISを用いた近世京都の名所案内記の分析」地理情報システム学会講演論文集 vol.14, 2005年, pp.349-352.

河原 大, 矢野桂司, 中谷友樹, 磯田 弦, 河角龍典, 松岡恵悟, 河原典史, 井上 学, 塚本章宏, 桐村 喬, 曾根 敦, 畑中達也, 銀木 護, 益見貴光, 坂尾滋彦, 高瀬 裕「WebGIS技術を用いた歴史的都市景観のデジタル・アーカイブ」人文科学とコンピュータシンポジウム論文集 vol.2005, no.21 (情報処理学会シンポジウムシリーズ), 2005年, pp.179-186.

磯田 弦「デジタルデータ供給機関の展開 イギリスからの二つの寓話」人文科学とコンピュータシンポジウム論文集 vol.2005, no.21 (情報処理学会シンポジウムシリーズ), 2005年, pp.225-231.

矢野桂司・磯田弦・河角龍典・中谷友樹・高瀬裕・河原大・井上学「歴史都市京都のバーチャル時・空間」(第24回国際シンポジウム「世界の歴史空間を読む GISを用いた文化・文明研究」) pp.379-391, 2005年)

矢野桂司「大文字山の眺望：四条大橋からの送り火鑑賞」中村和郎編『地図からの発想』古今書院, 2005年, pp.74-75.

#### 鶴岡 真弓

鶴岡真弓「ケルト文化とヨーロッパ ヴィジョンの芸術と精神」(『比較文明学会報』麗澤大学比較文化文明研究所, pp.3-6, 2005年3月)

鶴岡真弓「アラベスク文様とルネサンス芸術」(『比較文明研究』麗澤大学比較文化文明研究所, pp.40-60, 2005年3月)

鶴岡真弓「蒔絵と灯火節」(『なごみ』2005年2月号, 淡交社, pp.10-11, 2005年1月)

鶴岡真弓「古唐津と名護屋帯」(『なごみ』2005年3月号, 淡交社, pp.10-11, 2005年2月)

鶴岡真弓「立涌と『増鏡』」(『なごみ』2005年4月号, 淡交社, pp.10-11, 2005年3月)

鶴岡真弓「白の静寂」(近藤高広展カタログ, 京都・高島屋, 2005年1月)

鶴岡真弓「グラスゴアの陰とデザイン」(『ミュージック・マガジン』2005年4月号, ミュージック・マガジン社, pp.20-30, 2005年3月)

鶴岡真弓「ケルト文明とローマ帝国」(『C A R A』12号, 日本ケルト協会, 2005年3月)

鶴岡真弓「近現代装飾美術/デザイン史上にみる 東方の影響と身体性の変容について」平成16年度 国立民族学博物館特別共同利用研究員研究成果報告, 2005年2月21日

#### 【著書】

川嶋 将生

松本郁代『中世王権と即位灌頂』(403p, 森話社, 2005年, 単著)

桂島 宣弘

桂島 宣弘『留学生のための日本事情入門』文理閣, pp160, 2005年, 編著。

桂島 宣弘『増補改訂版 幕末民衆思想の研究』文理閣, pp340, 2005年, 単著。

#### 【学会発表】

桂島 宣弘

和田充弘氏(同志社大学)「近世往来物作者における手習と学問—中村三近子を中心に—」(2005年7月1日)

見城悌治氏(千葉大学)「井上哲次郎と日露戦後社会 戊申詔書・家族主義・帰一協会」(2005年9月30日)

山東功氏(大阪府立大学)「言文一致と井上哲次郎」(2005年11月18日)

権錫永氏(北海道大学)「「鬼ヶ島」としての北方と北方文化論」(2005年1月20日)

中村春作氏(広島大学)「近代日本における『思想史学』の成立と儒教への視点」(2005年3月17日)

稲葉 光行

権藤千恵『記憶を記録する試みーハワイ日系強制収容所に関する調査・展示から』日本移民学会第15回年次大会, 2005年6月25日

矢野 桂司

Manabu INOUE, Keiji YANO, Yuzuru ISODA, Yutaka TAKASE, Tomoki NAKAYA, Norifumi KAWAHARA and Akihiro TSUKAMOTO, 2005, "Restoration of the historical Kyoto using cadastral map 1912 - Constructing of the spatial base data using GIS - ", The 2005 Meeting of the Association of American Geographers (The 101st AAG Annual Meeting), April 8th 2005, Denver, USA  
Yutaka Takase, Keiji Yano, Yuzuru Isoda, Tatsunori Kawasumi, Satoshi Tanaka, Tomoki Nakaya, Norifumi Kawahara, Shinji Koga, Manabu Inoue, Dai Kawahara, Atsushi Sone, Mamoru Shiroki, Daisuke Motojima, and Naoko Ohmoto, 2005, "VIRTUAL TIME-SPACE OF KYOTO: A VISUALIZATION WITH VIRTUAL REALITY AND WEB TECHNOLOGIES" 1st Forum on the Promotion of European and Japanese Culture and Traditions in Cyber-Societies and Virtual Reality, April 18th-19th 2005, Laval, FRANCE

矢野桂司・磯田弦・河角龍典・河原大・井上学・中谷友樹・高瀬裕・塚本章宏・桐村喬・田中覚・田中弘美・赤間亮・八村広三郎・川嶋將生「バーチャル時・空間上の京都アート・エンタテインメント」第1回デジタルコンテンツシンポジウム(デジタルコンテンツ関係学協会連合大会) 科学技術館, 2005年5月25日~27日)

河原典史・磯田弦・塚本章宏・矢野桂司「京町家の残存状況と外面的形態の象徴性」2005年度日本民俗建築学会大会(鳥取県民文化会館, 2005年5月28日)

河角龍典・原澤亮太・吉越昭久「GIS解析による歴史時代の京都における地形環境変遷の復原」, 歴史地理学会第48回大会, 奈良大学, 2005年7月2日

河角龍典・矢野桂司・塚本章宏・磯田弦・高瀬裕・佐古愛己「GISおよびVR技術を用いた平安京の景観復原」, 日本文化財科学学会第22回大会, 北海道大学, 2005年7月9日

河角龍典「中世京都の地形環境変化」, 中世都市研究会 2005 京都大会(花園大学, 2005年9月4日)

矢野桂司・磯田 弦・中谷友樹・河角龍典・松岡恵悟・河原 大・塚本章宏・井上 学・高瀬 裕・桐村 喬・田中 覚・田中弘美・赤間 亮・八村広三郎・川嶋將生「GIS/VRモデルによる京都バーチャル時・空間」, GITA-JAPAN 第16回 コンファレンス(名古屋国際会議場, 2005年9月6日)

塚本章宏・矢野桂司・中谷友樹・磯田弦・河角龍典・松岡恵悟・河原典史・高瀬裕・河原大・井上学・桐村喬「京都バーチャル時・空間の構築」, CSIS DAYS 2005(東京大学空間情報科学研究センター, 2005年9月28日)

中谷友樹・磯田 弦・矢野桂司・高瀬 裕・河角龍典・田中 覚・河原典史・井上 学・塚本章宏・桐村 喬・松岡恵悟・河原 大・曾根 敦・銀木 護・本嶋大嗣・大本直子「京都の歴史空間を旅する4次元GIS KYOTO VIRTUAL TIME-SPACE A 4D GIS FOR EXPLORING HISTORICAL LANDSCAPES IN KYOTO」, 国際シンポジウム ハノイ1000年王城-地域情報学と探る-, (東京大学, 2005年10月2日)

曾根敦・畑中達也・銀木護・益見貴光・坂尾滋彦・河原大・高瀬裕「Web3D-GIS技術による3次元都市モデルのインターネット配信」2005年度地理情報システム学会(大阪工業大学, 2005年10月13~14日)

磯田 弦・矢野桂司・中谷友樹「ドローネ三角網を用いた京町家の接続性の分析」2005年度地理情報システム学会(大阪工業大学, 2005年10月13~14日)

塚本章宏「GISを用いた近世京都の名所案内記の分析」2005年度地理情報システム学会(大阪工業大学, 2005年10月13~14日)

中谷友樹・磯田 弦・矢野桂司・高瀬 裕・河角龍典・田中 覚・河原典史・井上 学・塚本章

宏・桐村 喬・松岡恵悟・河原 大・曾根 敦・銀木 護・本嶋大嗣・大本直子「歴史的都市景観のデジタル・ジオラマ：京都 Virtual Time-Space」日本国際地図学会 第39回地方大会（神戸市立博物館，2005年10月29日）

中谷友樹・矢野桂司・磯田弦・河角龍典・松岡恵悟・高瀬裕・河原大・河原典史・井上学・塚本章宏・桐村喬（2005）：歴史都市京都の文化遺産をめぐるGIS。第1回文化遺産防災シンポジウム「文化遺産の防災 - 空間情報の分析をめぐって - 」，2005年12月2日，立命館大学。

中谷友樹・磯田弦・矢野桂司・河角龍典・松岡恵悟・高瀬裕・河原大・河原典史・井上学・塚本章宏・桐村喬（2005）京都の歴史空間を旅する4次元GIS Kyoto Virtual Time-Space。立命館地理学会大会，2005年12月3日，立命館大学。

中谷友樹・矢野桂司・磯田 弦・高瀬 裕・河角龍典・田中 覚・河原典史・井上 学・塚本章宏・桐村 喬・松岡恵悟・河原 大・曾根 敦・銀木 護・本嶋大嗣・大本直子（2005）京都の歴史空間を旅する4D GIS Kyoto Virtual Time-Space，世界遺産保護国際セミナーInternational Seminar on the Protection of World Heritage，2005年12月15日，キャンパスプラザ京都。河原 大，矢野桂司，中谷友樹，磯田 弦，河角龍典，松岡恵悟，河原典史，井上 学，塚本章宏，桐村 喬，曾根 敦，畑中達也，銀木 護，益見貴光，坂尾滋彦，高瀬 裕「WebGIS技術を用いた歴史的都市景観のデジタル・アーカイブ」IPSJ SIG Computers and the Humanities Symposium 2005 デジタルアーカイブ ---その理念の深化と技術の応用---（東京大学大学院医学系研究科，2005年12月17日）

磯田 弦「デジタルデータ供給機関の展開 イギリスからの二つの寓話」

IPSJ SIG Computers and the Humanities Symposium 2005 デジタルアーカイブ ---その理念の深化と技術の応用---（東京大学大学院医学系研究科，2005年12月17日）

「歴史都市京都のバーチャル時・空間」矢野桂司・磯田弦・河角龍典・中谷友樹・高瀬裕・河原大・井上学・田中覚・田中弘美・八村広三郎・川嶋将生・赤間亮（国際日本文化研究センター第24回国際研究集会『世界の歴史空間を読む - GISを用いた文化・文明研究 - 』，国際日本文化研究センター，2005年2月10日）

「京都市都心部における京町家の分布変化」河原大・磯田弦・矢野桂司・中谷友樹（2005年度日本地理学会春季学術大会，青山学院大学，2005年3月27～29日）

第24回国際シンポジウム「世界の歴史空間を読む」GISを用いた文化・文明研究 『歴史都市京都のバーチャル時・空間』（国際日本文化研究センター，京都，国際日本文化研究センター）2005年2月10日

3D-GISワークショップ 2005・NSDIPA平成16年度第2回勉強会「空間情報技術と社会的合意形成」『4D-GISを用いた京都バーチャル時・空間』（NSDIPA，東京，都道府県会館）2005年2月22日

GISコミュニティフォーラム in 関西『歴史京都のタイムトラベル：京都バーチャル時・空間の構築』（国際日本文化研究センター，京都，ぱ・る・るプラザ京都）2005年2月25日

公開講演会「京都と江戸の景観を復原する - 3D-GISを用いて」『京の町並みを復原する』（日本学術会議地理学研究連絡委員会主催，東京，青山大学）2005年3月28日

#### 鶴岡 真弓

「近代日本におけるウィリアム・モリス批評の位相 柳宗悦・寿岳文章の書物芸術とケルトスコット・プレス」磯部直稀（「科学としての美術批評」研究会（主催：神林恒道），立命館大学，2005年1月17日）

「ケルト文化とヨーロッパ ヴィジョンの芸術と精神」鶴岡真弓（麗澤大学比較文化文明研究所，麗澤大学，2005年3月31日）

#### 田中 覚

矢野桂司，磯田弦，河角龍典，河原大，井上学，中谷友樹，高瀬裕，田中覚，赤間亮，八村広三郎，川嶋将生，「バーチャル時・空間上の京都アート・エンタテインメント，」第1回デジタルコンテンツシンポジウム（デジタルコンテンツ関係学会連合大会），2005.5.25-27。

長谷川恭子，仲田晋，田中覚，「形状計測装置に基づく曲面モデルの生成とメッシュレス解析，」日本計算工学会・第10回講演会，2005.5.31-6.2，国立オリンピック記念青少年総合センター。

木村章徳, 山添悠, 高間康文, 田中覚, 田中弘美, “ 適応的四面体格子に基づく複数領域同時分割アルゴリズム,” Meeting on Image Recognition and Understanding 2005 (MIRU 2005 ; 画像の認識・理解シンポジウム), 兵庫, July 18-20, 2005.

大本直子, 長谷川恭子, 本嶋大嗣, 仲田晋, 田中覚, “ 京都・南座の3次元モデル作成とその利用,” 情報処理学会・人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2005」, 東京大学, 2005年.

Yutaka Takase, Keiji Yano, Yuzuru Isoda, Tatsunori Kawasumi, Satoshi Tanaka, Tomoki Nakaya, Norifumi Kawahara, Shinji Koga, Manabu Inoue, Dai Kawahara, Atsushi Sone, Mamoru Shiroki, Daisuke Motojima, and Naoko Ohmoto, "Virtual Time-Space of Kyoto: A Visualization with Virtual Reality and Web Technologies." 1st Forum on the Promotion of European and Japanese Culture and Traditions in Cyber-Societies and Virtual Reality (Laval, France), 4/19/2005.

### 【シンポジウム・講演等】

赤間 亮

赤間 亮: 光と影の芸術 - 摺物をアーカイブする - (2005年. 1月立命館大学21世紀COEプログラム・シンポジウム「文化財のデジタル保存・モデリングおよびインタラクション」)

田中 覚

情報処理学会・「グラフィクス研究会」・第121回大会を主催, 2005年11月18~19日

田中 弘美

The First Joint Workshop on Machine Perception and Robotics (MPR2005) (September 25-27, 2005). In Peking University

亀井 且有

谷久一郎, 亀井且有「直感的推論による楽観・悲観軸評価にもとづく為替相場雰囲気の主観的可視化法」日本知能情報ファジィ学会学会誌, Vol.17, No.1, pp.95--102, 2005

E.W.Cooper and K.Kamei, "Kansei Modeling of the Color Design Decision Process in Web Designs," Proceedings of IEEE International Conference on Networking, Sensing and Control, pp.615--620, 2005 (Tucson, USA)

C.Thang, E.W.Cooper, Y.Hoshino and K.Kamei "A Proposed Model of Soft Computing in Diagnosing Diseases and Prescribing Herbal Prescriptions by Oriental Medicine" Proceedings of The First International Conference on Complex Medical Engineering CME2005, pp.904--908, 2005 (Takamatsu, Japan)

Y.Sakakura, N.Taniguchi, Y.Hoshino and K.Kamei, "Maintenance of Building Blocks in GA Using Symbiotic Evolutionary Viruses," Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics, Vol.9, No.4, pp.423--429, 2005

E.W.Cooper and K.Kamei, "Color Design Support by Color Selection Strategy Mapping Based on Designer Goals", Proceedings of 11th International Conference on Human-Computer Interaction (HCI 2005), 582.pdf in CD-ROM (4 pages), 2005.7 (Las Vegas, USA)

Y.Kinoshita, E.W.Cooper, Y.Hoshino and K.Kamei, "Development of Townscape Evaluation System for Colour Planning Support", Proceedings of 11th International Conference on Human-Computer Interaction (HCI 2005), 1279.pdf in CD-ROM (9 pages), 2005.7 (Las Vegas, USA)

I.Nakaoka, K.Tani, Y.Hoshino and K.Kamei, "A Portfolio Selection by SOM and An Asset Allocation of Risk / Nonrisk Assets by Fuzzy Reasoning Using the Selected Brands" IEEE SMC

中岡伊織, 谷久一郎, 亀井且有「SOMによる株式投資銘柄選定およびその選定銘柄を用いたファジィ推論による有リスク/無リスク資産分配法」日本知能情報ファジィ学会誌, Vol.17, No.5, pp.631--640, 2005

C.Thang, E.W.Cooper, Y.Hoshino and K.Kamei, "A Decision Support System for Rheumatic Evaluation and Treatment in Oriental Medicine Using Fuzzy Logic and Neural Network," Lecture Notes in Artificial Intelligence, 3558, pp.399--409, Springer-Verlag Berlin Heidelberg, 2005

E.W.Cooper, Y.Ishida and K.Kamei, "Modeling Designers' Color Decision Processes through Emotive Choice Mapping," Lecture Notes in Artificial Intelligence, 3558, pp.410--420, Springer-Verlag Berlin Heidelberg, 2005

Y.Kinoshita, R.Shimizu, E.W.Cooper, Y.Hoshino and K.Kamei, "An Intelligent Captioning System for the Optimization of Image and Caption Visibility," Proceedings of The 6th International Symposium on Advanced Intelligent Systems, , 2005.9 (Yeosu, Korea)

Y.Hoshino, Y.Fukuda and K.Kamei, "Proposed Intelligent Window Positioning System using Fuzzy Reasoning to Determine the Active Status of Windows," Proceedings of The 6th International Symposium on Advanced Intelligent Systems, , 2005.9 (Yeosu, Korea)

矢野 桂司

矢野桂司『京の町並みを復原する』公開講演会「京と江戸の景観を復原する - 3D - GISを用いて」  
(日本学術会議地理学研究連絡委員会主催, 2005年度日本地理学会春季学術大会(3月27~29日), 東京, 青山学院大学, 2005年3月28日)

中谷友樹『GISと京都の街並みのデジタルアーカイブ』(立命館大学アート・リサーチセンター2005年度, 第3回秋期連続講演会, 21世紀COEプログラム「京都アート・エンタテインメント創成研究」公開講座シリーズ, 立命館大学アート・リサーチセンター 2F多目的ルーム, 12月9日)

【そのほか】

本郷 真紹

大学院本郷ゼミ

(『類聚三代格』治部格の輪読。本学大学院生, 他大学からの聴講生が参加。内容は上記参照。毎週木曜日で通年開講)

古代史研究会

(『類聚三代格』の輪読。本学大学院生を中心に, 大学院ゼミと連動して, 史料の研究・論文の講読を行った。毎週木曜日で通年開催)

赤間 亮

「勤進帳」 能がかかりと舞台 (火樹会公演 能舞台でみる歌舞伎 第一巻)

映像制作「Living Kabuki」(大英博物館 Kabuki Heroes, 20 mins, 2005.6.30)

映像制作「生きている歌舞伎」(大英博物館大坂歌舞伎展, 22 mins, 2005.11.1)

京都名所絵・名所図絵資料検索システム

<http://www.arc.ritsumei.ac.jp/db1/kyotomeisyo/index.htm>

浮世絵関係サイト検索システム

<http://www.arc.ritsumei.ac.jp/db/ukiyoe-link/searchhp.htm>

ヒュー・コタツィ日本地図コレクション検索システム

<http://www.arc.ritsumei.ac.jp/db7/cortazzi/search.htm>

ARC所蔵日本・京都関連地図コレクション

<http://www.arc.ritsumei.ac.jp/db7/arcmaps/search.htm>

中本 大

「2005年度前期立命館大学文学部開講科目として, 「日本文学と芸能・美術」を設置, 本プロジェクトの内容を軸とした講義を実施した」

矢野 桂司

[ 出展等 ]

『バーチャル時 空間上の京都アート・エンタテインメント』第4回産学官連携推進会議: 展示ブース出展  
(国立京都国際会館, 2005年6月25・26日)

『都名所今昔 - 京都の名所風景を辿る - 』展覧会< 21世紀COEプログラム 特別展 > (立命館大学  
アート・リサーチセンター 1F展示室, 11月7日(月)~11月25日(金))

京都バーチャル時・空間Web

学内・学外とも要認証 <http://www.geo.lt.ritsumeai.ac.jp/webgis/ritscoe.html>